

# 医師用参照カード

## コンポーネントのペアリング

オプションのシステムコンポーネント同士のペアリングは、医師アプリケーションとのペアリング前に実施してください。

- 1 必要に応じて、フットセンサーを下腿用カフ EPG とペアリングさせます。  
フットセンサーペアリングモードの起動：電池 (CR2032) をフットセンサーに装着して圧力センサーを押すことで、フットセンサーを新しい EPG にペアリングできます。ペアリングモードの起動が確認されるとライトが緑色に点滅します。  
下腿用 EPG をペアリングモードにします。



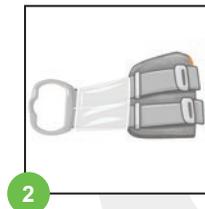
## システムと医師用プログラマアプリケーションとのペアリング

- 1 Bioness 医師用プログラマアプリケーションにログインします。
- 2  を選択してリンク画面を表示させます。EPG のプラスボタンとマイナスボタンを同時に押してシステムをペアリングモードにします。使用する脚の上にある  リンクアイコンを選択します。ペアリングが完了したら、 をクリックしてリンク画面を終了します。
- 3 患者を選択します。選択する方法には既存の患者から選択、新規患者の作成、またはリストから選択があります。  
患者リストから選択する場合、 アップロードアイコンを押すか、選択した名前をダブルクリックします。



## L300 Go システムの取り付け

- 1 個人用パネルを取り付けます。
- 2 個人用ストラップカバーをカフストラップにかけます。
- 3 刺激を与える部位を湿らせた柔らかい布で拭きます。膝から下を少し前に伸ばします。
- 4 電極を L300 カフに取り付けたら、カフ膝蓋骨ロケターを使ってカフを脚に置き、ストラップを締め付けて、きつさを調節します。
- 5 目的の反応が得られるように刺激設定をプログラムします。



# L300 Go システムのプログラミング

- 1**  **刺激設定のプログラミング。** 刺激コントロールダッシュボードから目的の EPG を選択します。電極の種類を選択します (図にはステアリング電極スクリーンが示されています)。患者が座った状態で、 テストを押して選択した EPG の刺激をオンにします。目的の反応が得られるように設定を調整します。 テストを押して刺激を中止します。接続されているすべての EPG についてこのステップを繰り返します。
- 2**  **歩行設定のプログラミング。** 歩行スクリーンアイコンを押します。 刺激波アイコンを押して歩行モードを有効にします。患者の歩行を観察し、必要に応じて設定を調整します。 刺激波アイコンを押して刺激を中止します。
- 3**  **トレーニング設定のプログラミング。**  トレーニングスクリーンアイコンを押します。トレーニング設定を調整します。この際、必要に応じて特定の EPG を除外します。トレーニングアイコンを押して、トレーニングモードに含まれるすべてのペアリング済み装置における刺激をオンにします。 トレーニングアイコンを押して刺激を中止します。
- 4** 各セッションの終了後には、 リンク画面にアクセスして  リンク解除アイコンを押してシステムのリンクを解除します。医師アプリケーションを終了します。

注意:  マニュアル刺激アイコンを長押しすると、ボタンが押されている間はペアリング済みの有効なすべての EPG において刺激がオンになります。



 **Bioness Inc.**  
25103 Rye Canyon Loop  
Valencia, CA 91355  
電話: 800.211.9136  
電子メール: info@bioness.com  
ウェブサイト: www.bioness.com

EC	REP
----	-----

**Bioness Europe B.V.**  
Stationsweg 41  
3331 LR Zwijndrecht, The Netherlands  
電話: +31.78.625.6088  
電子メール: international@nl.bioness.com  
ウェブサイト: www.bioness.com

禁忌、警告、副作用、使用上の注意、およびお手入れ方法の一覧は、患者用マニュアルをご覧ください。

